

＊ う め の む

前期前半終了。「子ども達の学びを止めない」充実した日々でした。

例年になく6月に梅雨明けをし、毎日暑い日が続いています。この夏は、感染症拡大防止と共に、熱中症予防にも努めながら、子ども達は学校生活を送っています。前期前半も残すところ、後2日となりましたが、子供達はそれぞれの学年・学級で、学級活動の時間に話し合い、縁日のような祭りや校内スタンプラリー等を企画し、実行しています。一連の活動が、心に残る思い出となるように、教師一同で応援しています。

さて、感染症対策をしながらの生活も3年目になった今年度は、「子ども達の学びを止めない」を合言葉に教育活動を進めています。この3か月余りをふり返ってみますと、一昨年・昨年と比べると、多くのことに取り組むことができました。全校の行事では、オンライン学習参観、歓迎遠足・5月実施の運動会、避難訓練や引き渡し訓練等です。学年別には、3年生で初めて使うリコーダーについて学ぶ講習会、4年生の校外でのスケッチ大会、6年生の太宰府の歴史探究等を実施することができました。様々な活動は、子ども達の学ぶ意欲や理解、考える力を育むことにつながったと感じます。

まだまだ感染症は予断を許さない状況ではありますが、前期後半以降も工夫していきます。今後も保護者・地域の皆様の本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いします。



大きなりコーダーに興味津津々3年生



スタンプラリーを楽しむ1・6年生

「定着させる」夏休みを！



夏休みは、子ども達にとっては普段できないことに取り組むチャンスの時です。ご家庭で様々な計画を立ててあるかと思いますが、子ども達には、約1か月の長い期間を利用し、学習内容を「定着させる」夏休みにして欲しいと思います。

学校では日々新しいことを学ぶ、その連続です。新しいことを次々と学習するため、前に学習したことをそのままにしておくことと忘れがちです。忘れないために、分かる・できるようになるためには、学んだことを「定着させる」ことが、子ども達には必要だと感じます。「学力の差」は、「定着の差」とも言われます。学校では学んだことを「定着させる」ために、プラムタイムやとびうめ復習タイムを設け取り組んでいます。長い夏休みは学習したことを「定着させる」よい機会です。学校の宿題を活用し今の内容はもちろん、過去（下の学年）で学んだ内容の復習に取り組むと効果的です。横について取り組みを見守ったり丸付けをしながら教えたりできるようになったところを褒めたりしていただくと思欲をもって復習に取り組めると思います。



自分の考えを書いている児童

【市役所からのお知らせです。】

○サル目撃情報などに関する情報は、太宰府市市役所・市民生活部環境課、または、総務部防災安全課に連絡してください。

太宰府市市役所 TEL…092-921-2121